

平成28年12月27日

原料費調整制度に基づく平成29年2月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成29年2月検針分の単位料金を、平成29年1月検針分に比べ1m³(45MJ)につき0.76円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成28年9月～平成28年11月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に39m³のガスをお使いになる標準家庭で平成29年1月検針分と比較して、29円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成29年2月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量	料金表A	料金表B	料金表C
0～24m ³	25～500m ³	501m ³ ～	
基本料金(円/月)	745.20	1,272.54	7,473.90
調整単位料金(円/m ³)	121.53	100.37	87.98
(参考) 1月調整単位料金	120.77	99.61	87.22

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 39m ³ (45MJ/m ³)	平成29年1月	平成29年2月	増減
適用料金(円/月)	5,157	5,186	29

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成28年8月～平成28年10月の平均 (1月検針分)	平成28年9月～平成28年11月の平均 (2月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	17,600	18,490	890
LNG	36,900	38,680	1,780
LPG	35,410	38,230	2,820

基準平均原料価格(b)	27,350		
-------------	--------	--	--

差額(a-b)	▲ 9,700	▲ 8,800	900
---------	---------	---------	-----

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 38,680 \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 38,230 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= 18,491.68 \\ &\quad \downarrow (10円未満四捨五入) \\ &= 18,490 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} 18,490 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} &= \Delta 8,860 \text{ 円/t} \\ &\quad \downarrow (100円未満切捨て) \\ &= \Delta 8,800 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \Delta 8,800 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.08424^{*1} \\ &= \Delta 7.42 \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.08424(0.078×1.08)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は小数点第3位を切り捨て、マイナスの時は小数点第3位を切り上げます。

＜標準家庭における影響＞

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 39m ³ (45MJ/m ³)	平成29年 1月	平成29年 2月	増減
適用料金(円/月)	5,157	5,186	29

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬地区

本体料金(税込み)=基本料金(1,272.54円)

+ 調整単位料金(107.79円)

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

+ $\Delta 7.42$ (円) × 39m³

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。